

第14回 びんご多文化共生連続ワークショップ

ZOOM meeting

日時：2021年10月31日(日)10:00~12:00
定員：100人 参加費：無料(事前申込が必要です。)
申込締切：10月27日(水)
参加方法：web会議システム(ZOOM)

ベトナムから見た日本とは？

「ベトナムの実習生送出し機関の教育と対日意識」



講師：^{しおいり}塩入すみさん

〔講師プロフィール〕

熊本学園大学外国語学部教授。文学博士(熊本大学)。専攻：日本語教育・異文化間教育

台湾の大学で10年余り日本語教育に携わり、帰国後は大学の留学生教育と日本語教員養成に従事。2018年より熊本県内の技能実習生の調査・交流活動を行っている。近著に「表象のベトナム、表象の日本ーベトナム人実習生の生きる空間」。



「ベトナムと日本の文化の違い」

講師：^{キム ニー}Kim Nhiさん

〔講師プロフィール〕

ベトナム・ドンタップ省出身。母国で高校を卒業後、日本への送出し機関で教育を受け、2018年12月来日。現在、熊本市で技能実習生として勤務。趣味は風景の写真撮影、バイクツーリング。



日本における外国人労働者の数はコロナ禍の中にあっても増えており、彼(女)らの活躍なしには成り立たない産業もあります。外国人が日本で暮らす中で直面する大きな壁の一つが言葉や文化・習慣の違いです。ともすると「外国人が日本に適應するためにはどうすればいいのか」と無意識に日本を基準に考えがちですが、それでいいのでしょうか？日本固有の文化や習慣が海外で通用しないこともよくあります。

今回は、日本で存在感を増すベトナム人に目を向け、ベトナム目線から日本がどう映るのか、日越の考え方や行動様式の違い、互いの常識の違い、両者の間で理解や誤解がどのように生じるのかなど、異文化理解に焦点を当てます。ベトナムにフィールドを置く塩入先生とベトナム人のキムさんのお話を聞いたあとで、参加者のグループワークにより、ともに考えましょう。日越の相互理解につながれば幸いです。



■申込方法：右上のQRコードを読み取ると、申込みのページが表示されます。 ➡
つぎのURLからでも、申込みのページにつながります。
<https://bit.ly/2VOQUNs> 参加のためのURLは10月28日に送信予定です。



■参加にあたって：

あらかじめZOOMアプリをインストール(無料)していただくと便利です。
インストール済みの方はバージョンアップをお願いします。
参加に係わる通信費については、参加者ご自身の負担になります。

共 催：びんご多文化共生研究会、
福山市立大学教育研究交流センター
びんご日本語多言語サポートセンター「びるど」
広島県
後 援：中国新聞備後本社、エフエムふくやま

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

